

先人たちが残してくれた真実
受け止め繋げる未来の平和に

願い祈る平和 心に刻む戦争の真実

私たちは、平和を願い続けることを忘れてはいけません。
80年前に「戦争」という残酷な事実があったことも
この夏、先人たちが残してくれた思いに目を向けませんか。

戦前を生き見つけた使命 後世に伝える戦争の真実

「戦争は敵も味方も不幸にする最大の人権侵害。その罪深さを訴え、二度と戦争が起らないよう戦争の真実を後世に伝える」という強い思いで武富慈海さんの父である武富登巳男さんが1979(昭和54)年7月に個人での設立は日本

初となる「兵士・庶民の戦争資料館」を自宅の一部を改造して開館しました。各地の遺族から遺品が寄せられ、300点以上の資料が展示されています。そのほぼ全ての遺品を手にとつて触れることができ、来館者たちは「想像を超えて強く心に響く」と驚きの声を上げています。戦争の過酷な環境のなか鉄のヘルメットを被り、三八式歩兵銃(4kg)と30kg

の荷物、防寒着を着て行軍した兵士たちの様子を写真や文書で見ただけでなく、実際に体験することができ、戦争を五感で感じることが出来ます。「人は過去のことはずぐに忘れてしまい、同じ過ちを繰り返す生き物。過去の教訓から学び、後世に伝え続けないといけない」と語るのは、館長の武富慈海さん。現在も父の思いを引き継ぎ、海外や全国からの来館者に貴重な遺品たちを通じて戦争の愚かさや悲惨さを伝えています。

武富さんは毎年、伊方小のへ



→久留米歩兵第43連隊 昭和13年や航空隊 昭和16年で戦争を経験した武富慈海さんの父 武富登巳男さん 当時21歳。



↑当時、実際に使われていた遺品を手に取り、真剣な眼差しで見ると大和青藍高等学校の生徒たち。

出校日に平和学習の講師として子どもたちに戦争の真実を伝えていきます。今年の7月9日には、大和青藍高等学校(直方市)の看護専攻科1年生35人の生徒たちに命の尊さや千人針などの遺品に込められた家族の思いなどを伝え、平和教育の一助を担っています。

未来の平和を守るため 一人ひとりが願う「今」を

現在、戦後生まれの国民が9割を越え、若い世代にとっては遠い過去の出来事になっている「戦争」。また、戦時中を過ごした人たちの貴重な話を聞く時間は確実に少なくなり、近い未来には、無くなつていきます。私たちは今しか聞くことのできない先人たちの貴重な肉声にしっかりと耳と心をかたむけ、戦争という残酷な真実を受け止めなければいけません。過去の大戦が風化の一途をたどる今、戦争を知らない世代に求められていることは、この悲惨な真実を自分事として



↑伊方小の平和学習会で生徒たちは遺品を実際に手に取り、歴史を肌で感じています。今年も学習会を実施予定。



大和青藍高等学校 看護専攻科1年
佐藤 恵さん

【平和学習を通じて】

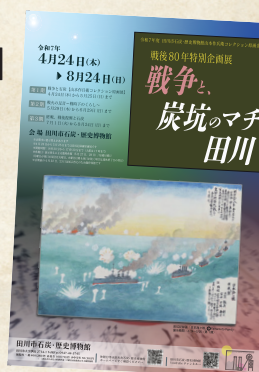
兵士・庶民の戦争資料館には、戦争当時の書物や写真、実際に使われていた服や武器が展示されていました。中でも、私の年齢と変わらない若い兵士たちの遺書に目をひかれました。きっと、兵士たちは私たちが想像もできないほど辛い思いをしていたんだろうと思いました。今こうして私たちが平和に生活できているのは昔の人たちが築いてくれたからです。私たちは、昔の人たちが築いてくれた平和を壊す戦争は二度としてはならないと強く思いました。

考え、今ある平和が当たり前ではないと知ること。平和である今だからこそ戦争を語り、平和を築いてくれた先人たちが流した血や涙、紡いできた思いを忘れず、後世へと語り継いでいく必要があります。これからも平和への道を歩むためには、80年前の残酷な真実を風化させてはいけません。私たち一人ひとりが自ら足を運び、戦争の恐ろしさを心に焼き付け、今の私たちに想像もできないくらい凄惨な真実があったことを知ってください。我々が平和を願う心を持ち続ける限り、80年前から紡いできた思い(平和)は未来に届き、後世を守ることにつながっていきます。

終戦から80年目の節目に平和について考えてみませんか。

戦後80年特別企画展 【戦争と炭坑のマチ田川】

近代の戦争の記憶とともに石炭によって栄えた田川の歴史をたどる3期連続の特別展を開催中。戦時下の田川を中心とする筑豊の様子、人々の生活や石炭産業との関連について紹介。



日時

令和7年4月24日(木)～8月24日(日)

会場:田川市石炭・歴史博物館(9時30分～17時30分)

※詳しくは、お問い合わせください。

田川市石炭・歴史博物館 ☎ 44-5745

開戦84年 【陳肇耀 チェン・チンヤオ展:戦争と美術】

今年は、第二次世界大戦の開戦から84年目にあたります。本展では、陳肇耀の作品に加えて、制作のために参照された戦争記録画や戦時中の各種資料もあわせて紹介。

日時

令和7年7月12日(土)～8月31日(日)

会場:田川市美術館

観覧料:一般800円(700円) 未就学児無料

高校生400円(300円)

小学生200円(100円)

田川市美術館 ☎ 42-6161

→詳しくはHP
をご覧ください。



兵士・庶民の戦争資料館



館長

たけとみ じかい
武富 慈海さん

兵士・庶民の戦争資料館は、入場無料で館内の資料は戦争当時を身体で感じていただけるよう、自由に手に取って見ることができます。

この機会にぜひ、国や愛する人々を守るために命を捧げた方々の遺品から伝わる戦争の凄惨さを肌で感じ、知ってください。

●休館日 水・木

●開館時間 13:30～17:00

●入館料:無料

●場所:小竹町大字御徳415番地13

☎ 0949-62-8565 (要予約)

